

匿名により通報のありました、研究活動上の不正行為等の疑いがあると思慮される事案について、調査の結果、不正に当たらないと認定しましたので、下記のとおり公表します。

記

1 ねつ造の疑いがある旨の通報内容

2022年5月5日にPLOS ONEで撤回されている論文について、「基礎資料、基礎データがない場合は不正とみなされる。」との通報

2 不正に当たらないと認定した根拠

撤回コメント中「責任著者が、個体レベルの腫瘍体積及びマウス体重のデータは提示できない。」とした点について、PLOS ONEの回答期限には提出できなかったが、予備調査において本学調査員が研究データの有無に関して聴取したところ、PLOS ONEの回答期限後も引き続き研究データの探索を続けた結果、研究データの原本を発見している旨の説明があった。

予備調査のヒアリングの際、筆頭著者から研究データ原本の提示があり、本学調査員が内容を確認したところ、掲載していた論文と研究データに矛盾がないことが確認できたため、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」及び「和歌山県立医科大学における研究活動上の不正行為防止等に関する規程」による「ねつ造」に当たらないと認定した。

3 公表までに行った措置の内容

予備調査 1回

4 調査の方法及び手順等

関係者のヒアリング（論文撤回に至った経緯を含む。）、対面審査（撤回論文に係る実験データ原本の確認等）

5 その他

一部、動物実験の実施に際して、動物実験の倫理上不適切な対応があったため、論文著者に対し嚴重注意とし、再発防止に向けた指導を行った。